

謹賀新年

あけましておめでとうございます。

新年を市民の皆様と共に迎えたいことをお慶び申し上げます。

最近、市内での変化として、外国人観光客が散策している様子を見る機会が多くなりました。これは、官民挙げてクルーズ船を誘致した結果、13回寄港が実現したところによるものです。訪れて頂いた外国人観光客には景色や食事など概ね好評ですが、今後、更に鳥羽での周遊を工夫し、満足度が高まる取り組みを進めていきます。また、それに関連して昨年はフランスを訪問し、トップセールスを行いました。海女文化のトークショー開催や、フランス・ドイツ公営放送の取材や放送を通じて大きな反響があったことから、今後、欧州からの観光客が来鳥してくれることに期待をしています。

さて、令和2年度に予定している大きな出来事としては、いよいよ市民体育館のメインアリーナが春にリニューアルオープンすると共に、秋にはサブアリーナが新しくオープンします。市民文化会館の大ホールを閉鎖したことによりご迷惑をおかけしてしましたが、サブアリーナはホール機能を併設していますので、スポーツだけでなく芸術文化や健康、交流の核となる施設に生まれ変わります。また、全国でも珍しい市が所有する水産研究所が4月に小浜町へ新築移転します。新たに外から人を迎え入れることも意識して進めてきました。黒のりやワカメの研究はもとより、三重大学をはじめ、様々な機関と連携して海洋教育

に取り組んでいきます。また、防災面では、防災行政無線のデジタル化を進めていきます。

次に、ソフト事業では、令和3年三重とわか国体に向けて12月にフェンシングのリハーサル大会が行われるほか、まちの計画書である第6次総合計画の策定作業を進めていきます。その他、地域共生社会への取り組みや、海女文化、海藻文化、中央公園再整備などの重点施策も引き続き進めていきます。

一方、市の財政は厳しい状況にあることや、20年後の2040年には本市の人口が1万人程度に減少すると予想されています。少子高齢化が深刻さを増すなかで、今から公共施設の統廃合や公共サービスの見直しを進め、後世に負担を残さない行財政運営を進めていく必要があります。皆様にはご無理をお願いすることがあるかと思いますが、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

今年にはオリンピックイヤーで、4月にはオリンピック聖火ランナーが鳥羽へもやってきます。私の任期もそこから1年でありますので、聖火ランナー同様ここまで受け継いできたことを大切に、そして一步一步着実に市政運営に邁進してまいります。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のあいさついたします。

鳥羽市長

中村 欣一郎



新年、明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、鳥羽市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は、市議会の活動に対し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、4月に、4年に一度の改選があり、新たな市議会構成による全議員14人が改めて気を引き締めるスタートの年でありました。

そして、昨年は日本にとって大きな変化の年でもありました。それは、皇太子徳仁親王殿下が皇位を継承し、新天皇に即位され、平成に代わる新しい元号が「令和」に改元されたことではないでしょうか。

この令和という新しい時代に本市議会も更なる深化を目指し、議会運営等を見つめなおす年でもあったように思います。

さて、平成28年11月に議会報告会並びに意見交換会から「TOBAミライトーク」として新たに始動し、市民との対話の場づくりとして各種団体やサークルなどを実施してきましたが、今後もさらに市民参加の充実を図りながら完成形を目指した取り組みへと結び付けていきたいと考えております。

政策面におきましては、人口減少に伴う課題等、地域の抱える問題も多く、鳥羽市の真価が問われる正念場を迎えようとしています。市長をはじめとする執行部とも、鳥羽市の将来を見つめ、市民のために建設的な議論を行い、行政と議会が互いに競い合いながら市民の負託にこたえていきたいと思っています。

また、中立、公平公正な議会運営とともに、これまでどおりという前例にとらわれることなく、時代にふさわしい新しい議会運営を心がけ、市民の皆様方のご意見にも真摯に耳を傾け、14人全員による「オール鳥羽市議会」に努めてまいりたいと考えております。

今後もより身近な議会となるよう、その役割を十分に果たしてまいりたいと思いますので、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

本年が市民の皆様にとりまして、希望に満ち溢れた最良の年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

鳥羽市議会議長

木下 順一